

ドセタキセル tri-weekly 療法

診断名：食道癌

○投与スケジュール(1 コース 21 日間)

Day1(点滴):ドセタキセル(DOC) 70mg/m²

○注意事項

・投与開始後15分間は、主治医あるいは看護師によるベッドサイドでの観察を行うこと。

・予想される有害事象

骨髄抑制(白血球減少、好中球減少)

→好中球減少は投与8～11日目に最低値(nadir)が認められる。投与後2週間程度は頻回
に白血球数、好中球数、特に好中球数の観察を行うこと。好中球減少に発熱を伴い、感
染症が疑われる場合は、グラム陰性桿菌、グラム陽性球菌及び真菌等の感染症を考慮
に入れた適切な処置をすること。

・プレメディケーションについて

ドセタキセルの投与に際しては、過敏症ならびに浮腫等の有害事象の防止のためにス
テロイド剤および抗ヒスタミン剤の前投与が推奨される。(但し、国内においての規定は
ない)